

1 ねらい

漢字には「音」と「訓」があることに興味をもち、確かめようとしている。【関】

2 学習の流れ

時間	主な学習活動	教師の支援
5分	1 本時のめあてを確かめる。	・単元名からめあてを考えさせる。
	漢字の音と訓について知ろう	・音と訓について、自分なりに考えさせてみる。
10分	2 例文を読んで、同じ漢字で読み方が違うことについて考える。	・教科書の例文を使って、「朝」には2つの読み方があることをとらえさせる。 ・複数の読み方がある他の漢字を出し合わせ、音と訓に分類する。
10分	3 漢字の読み方には、音と訓の2種類があることを知る。	・分類したものから、気付いたことを発表させる。 ・音と訓の特徴について知らせる。 ・2種類の読み方ができた由来を知らせる。
5分	4 分かったことをまとめる。	
	音…中国語で読まれていた読み方。 読んだだけでは意味が分かりにくい。 送りがながない。かたかなで表す。 訓…日本の読みを漢字にあてはめた。 読んだだけで意味が分かる。 送りがながつくことがある。ひらがなで表す。	
5分	5 p.29 1 の問題に取り組む。	・予想をしてから、巻末の「これまでに習った漢字」で調べるようにさせる。
5分	6 新出漢字を確かめる。	
5分	7 ふり返りを書く。	

3 評価

漢字の音と訓に興味をもち、これまでに学習した漢字を調べている。(ノート, 練習問題)